

「目標と向上心」

【滋賀大学 経済学部】

情報処理科 男子

私は大学に進学することを前提に愛知商業に入学しました。入学後はフェンシング部に所属し、部活動とテスト勉強の両立をしたいと考えていました。入学してすぐ、顧問の先生から部活動での一定の成績を残すことでハードルの高い大学に進学することができると知りました。私はその中でも高い就職率と学費が安い点が魅力的な滋賀大学に進学したいと考えました。

部活動では東海大会に出場することを目標とし、自分自身が成長するために弱点を減らすとともに、強みを伸ばすことが課題でした。そこでOB、OGの先輩や先生からアドバイスを頂き積極的に動くようにしました。しかし、自分の考えに固執し、周りの意見を尊重することが疎かになっていきました。自分が中心的と捉え、周りが見えていなかった自分に対し顧問の先生は、「自分が一番だと考えるな。周りの人を尊重し、人のために行動し、感謝される人間になれ」と言われました。そこから人のために動ける人間になろうと思いました。そして最後の大会で東海大会に出場することができました。

中学生の頃は向上心に欠けた生活でしたが、愛知商業に入学し目標を明確にもったことでさまざまな経験をした3年間になりました。この先の新たな場でも目標と向上心をもつことを心掛けたいです。そしてより輝かしい人生のためにさまざまなことに挑戦し、失敗を受け入れ、成長していきたいと思います。

「努力と継続の先に」

【南山大学 経営学部】

経理科 女子

私は進路の選択肢の広さから愛知商業高校に入学しました。私が入学した年は新型コロナウイルスの到来により、入学早々に休校を余儀なくされました。しかし、本来は学校で学びに充てるはずだった時間を無下にしたくないと思い、自宅で勉強に励みました。課題として出された簿記は未知の存在。それでも逃げずに向き合い、分からない部分は自分で調べ、疑問を残さないようにしました。休校期間中に学習習慣をつけたおかげで、学校が始まった後も学習をスムーズに進め、考査で好成績を残すことができました。

さらに私は、自分自身を成長させるために、ユネスコクラブに入部し、販売活動やイベント企画、大会でのプレゼンなど、今までにない様々な体験をしました。しかし、その全てが楽しかった訳ではありません。力不足に悩み、プレッシャーに押しつぶされそうな時期もありました。勉強との両立に苦勞し、退部を真剣に考えた時期もありました。それでも諦めず、勉強も部活動も力を尽くしました。その結果、以前の私よりも大きく成長できたと現在感じています。

また、努力は成績という形で表れ、希望していた大学の指定校推薦をいただけられました。推薦先を知らされた時は信じられず「今まで頑張ってきてよかった」と強く思いました。しかし、これらの結果は、私一人の力ではなく、家族や先生方など多くの方の支えがあったおかげです。全ての方への感謝を忘れず、次なる道を歩みたいと思います。

「時間の使い方」

【愛知大学 経済学部】
国際ビジネス科 女子

私は高校生活を通して、「時間の使い方」がいかに大切かを学びました。

私は高校3年間でバスケットボール部に所属していました。部活動と勉強の両立は、中学生の頃の私が想像していたよりも大変でした。ですが、私は限られている時間を上手に使うことで、大変な状況でも自分自身の目標実現に近づくことができると考えています。以前、顧問の先生に「目標設定」について話をさせていただいたことがありました。一見、時間の使い方とは関係がないように思われるかもしれませんが、自分がいつもより少し頑張れば達成できる目標を3日、あるいは1週間に1つ設定するだけで、時間を無駄にすることなく、自分の成長度を知ることができます。それは、目標を期間内に達成できたら次のステップに進むことができ、できなくても自分の足りていない部分に気づくことができるからです。私はこのことを教えていただいてから、物事を効率よく進められるようになりました。周りの人は、自分が気づいていないだけで見えない努力をしています。だから、私はその努力を同じ時間の中でたくさんしようと考えました。

このことは、スポーツでも、勉強でも、普段の生活でも、誰でも活用することができます。大学進学後も、目標を実現できるように、時間を大切にして生活していこうと思います。そして、今の自分よりも成長した姿でいられるように頑張りたいです。

「ライバルの存在」

【名城大学 法学部】
情報処理科 女子

私は、愛知商業に入学したときから、指定校推薦で進学したいと考えていました。しかし、大学でどのような勉強をしたいかは決まっていませんでした。3年生になって進学先を決めるときに、成績が足りなくて諦めるということはしたくなかったので、1年生から考査の勉強や資格取得に力を入れました。ところが、部活動と勉強の両立が思っていたよりも大変で、勉強時間を長く確保することが難しくなりました。そんな状況でもがんばることができたのは、ライバルの存在があったからです。放課後一緒に残って、わからない問題を教え合ったり、テストの点数で競い合ったりしていました。1点でも点数で負けたくないという思いが勉強する意欲につながりました。また、ライバルが言っていた「勉強はコミュニケーションを取る手段だ」という言葉で、勉強をすることは、自分自身のためだけではないということにも気付くことができました。一緒に努力することができる友達に出会えたことが、私の進路実現を可能にした大きな要因です。志望校合格という目標は、私一人では達成することができませんでした。ライバルだけでなく、悩んでいたときに相談に乗ってくださり、応援してくれた先生方、いつもそばで支えてくれた家族には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。愛知商業での経験を活かし、進学先でもがんばります。



「努力したことから得たこと」

【日本福祉大学 看護学部】

事務科 女子

私は総合型入試で日本福祉大学看護学部を受かる事ができました。初めは推薦で受かることを目標にしていたのではなく、一般で専門学校を受かることを目標にしていました。進路を大きく変えたきっかけは母に「推薦で大学を受けてみたら？」と勧められたことがきっかけで、総合型入試で挑戦しようと思い、受験しました。

一般入試と総合型入試、定期テストそして検定勉強を全部こなすことはとても大変でした。一般入試と総合型入試では対策方法が違いますし、総合型入試を優先に進めることで一般入試での勉強の時間が他の受験者より短くなるため、後先苦しい思いをしてしまうと思い毎日が不安で仕方なかったのですが、自分が決めたことは最後までやりきると心の中で決めていたので毎日諦めずに両立して勉学に努めていました。夏休みには推薦対策を行う塾に通い志望理由書の添削などを行い、同時に塾で一般入試の対策を行っていました。そして、受験直前期には、高校の先生、家族、塾の先生に頼み毎日面接の練習に励みました。面接が苦手でしたので面接後に先生にポイントを聞くなどして自分のよくないところを無くすため、夜遅くまで反省ノートを書き復習をしていました。

試験当日は毎日練習をしていたおかげで緊張感はなくスムーズに試験を行うことができました。今まで頑張った成果を出せた気がします。

今回の合格は、多くの人に支えてもらったおかげだと思います。これから先、辛いことを経験するかもしれませんが今まで頑張った努力を活かし、立派な看護師になれるよう進学先で頑張ります。

「自分のやりたいことを見つける」

【愛知医療短期大学 理学療法学専攻】

国際ビジネス科 女子

私は、入りたい部活があったので愛知商業に入学しました。入学後のわたしは、将来の夢も明確に決まっておらず、就職にするか進学にするかは全く決まっていませんでした。愛知商業は3年間の合計の評定平均が進路に関わってくることを先生に言われたので、3年生になって後悔しないように部活動と勉強の両立を一生懸命がんばりました。

3年生になって本格的に進路を考えるようになりましたが、6月くらいまでは就職にするか進学にするか決めきれずにいました。そのため、自分なりに気になる大学について調べてみたり高校卒業後すぐに働くことは自分に合っているのかなど親と話し合ったりしました。その結果、私は進学することに決めました。大学を決めていく過程で、やりたいことが見つかったので、指定校の志願をしました。しかし、私より評定平均が高い志願者いたので指定校ではなく私は、総合型入試を受験することにしました。それからは志望理由書を書いたり面接練習をしたりと後悔が残らないように頑張り、合格を頂くことができました。

愛知商業は、自分の努力次第で将来の選択肢が増える高校だと思います。また、先生方も面接練習や理由書の添削など色々な場面で支えてくださり、とても感謝しています。

進路先で、大変なことはたくさんあると思いますが、この3年間愛知商業で学んだことを生かして、頑張りたいです。

「将来の夢に向けて」

【大原簿記情報医療専門学校

公認会計士・税理士科】

経理科 女子

私は中学3年生の時、高校卒業後就職したいと思い、愛知商業に入学しました。ですが、1年生の時外部の方の講演で会計士という職業があることを知り、将来会計士になりたいと思うようになりました。そこで私は会計のことをより深く学ぶために、専門学校への進学を決めました。

まず初めに私は、自分の夢に近づくため日商簿記2級を目標に部活動を通して日々勉強に取り組みました。しかし、なかなか理解することができず、点数も伸びず、「自分には難しい」と弱気な気持ちになっていました。人に話しかけることが苦手だった私は一人で考え込んでしまい、わからないところをわからないままにしていたため、それが原因だと思い、わからないところは周りの人に聞き理解していこうとしました。結果、理解が深まり、問題を解いていく中で徐々にわかるものが増えていき点数につながり、資格を取得することができました。

入試では検定を中心に高校3年間で経験し、学んだことを話すことができ、合格することができました。会計士という目標にはまだまだですが、検定を通して自分から行動することや目標に向けて努力することの大切さを改めて実感することができたため、これから先多くの壁にぶつかったとしても、高校で学んだことを忘れずに自分の夢に向かって努力し続けたいと思います。

「自分の気持ちを大切に」

【専門学校セントラルトリミングアカデミー】

国際ビジネス科 女子

私は将来の夢が決まっていませんでした。何も目標がないのに大学に行くという選択肢はなかったため、初めは就職をしようと考えていました。しかし、何か目標を持ってそれに向かって頑張りたいと思ったため私は専門学校に進学することに決めました。

専門学校は、大学や就職に比べて比較的に入りやすいイメージがあります。しかし、進学させていただく以上できるだけ入学金や授業料など免除できるものがあればしておきたいという気持ちとともに、面接や調査書での印象を大切にしたいという思いがあったため、三年生では今まで以上に真剣に勉強に取り組みました。私はバスケットボール部に所属していたため、行き帰りの電車や放課の時間など、隙間時間を使って勉強に取り組みました。その結果、三年生の一学期の中間考査では今までで一番の成績をとることができ、面接にも堂々と望むことができました。

愛知商業高校は勉強も部活も活発な高校です。そこが魅力です。しかしそれらを両立させることが大変だと感じてしまうことも時としてあります。そういった時に真剣に生徒と向き合ってくれる、頑張れる環境であるところが愛知商業高校です。私は愛知商業高校に入って多くのことを学ぶことができました。支えてくれた人、自分を成長させてくれた人、沢山の人の感謝の気持ちでいっぱいです。目標に向かってこれからも頑張っていきます。

